

マネージメント情報 2016年 3月

断尾に対する各団体の見解

過去から乳房炎予防や搾乳者保護を目的として、「断尾」が行われてきた。我々もそれを推奨してきた歴史があるが、近年この行為に関する見解が変化し、断尾が奨励されなくなっている。以下、各団体の断尾に対する見解を紹介する。

National Mastitis Council (アメリカ乳房炎協議会 NMC)

NMCは、断尾が動物愛護、牛体衛生、乳質などを改善するという証拠を持っていない。NMCは、他団体とともに乳牛における断尾の習慣的な利用に反対する。

American Veterinary Medical Association (アメリカ獣医臨床協会 AVMA)

AVMAは、日常的な断尾に反対する。現時点における科学的文献は、断尾が牛に対して何の利益も与えなく、ハエのシーズン中、苦痛を与えていることを証明している。尾の切断が必要なときには、絶対的に獣医師免許のあるものによって行われるべきである。

Canadian Veterinary Medical Association (カナダ獣医臨床協会 CVMA)

CVMAは、乳牛の断尾に反対する。断尾は牛の健康改善に何の貢献もしていない。

American Association of Bovine Practitioners (アメリカ牛臨床獣医協会 AABP)

AABPは、牛の断尾に反対する。現時点における科学的調査は、日常的断尾行為が動物に何の利益も与えていないことを示唆している。

Guide for the Care and Use of Agricultural Animals in Research and Teaching (研究と教育における産業動物のケアと利用に関するガイド)

断尾に関連する牛の福祉において、断尾は何の利益もない。調査と教育牛群における習慣的な断尾は、やめるべきである。そして、断尾の代わりとして、毛を刈ったり、固定したりする方法に切り替えることが推奨される。医学的理由以外での、いかなる断尾行為も IACUC (Institutional Animal Care and Use Committee 動物ケアと利用委員会)によって調査証明されるべきである。

以上のように、多くの団体が断尾に反対の立場をとっていて、過去に言われた乳房炎や乳質への効果は認められないだけでなく、牛にとって苦痛であるということです。さて、どうしましょうか!?

黒 崎